

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	山路 麻佳	職名	特任講師	学位	修士 (教育学)
----	-------	----	------	----	----------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
ピアノ演奏学	ピアノ演奏表現、音楽教育、保育者養成ピアノ教育 幼児の音楽表現、器楽アンサンブル(合奏)

研 究 課 題
保育者養成のためのピアノ教育において、ピアノの経験がない初心者への効率的な指導法を童謡の弾き歌いにおけるピアノ伴奏を中心にして考察する。また、保育者養成におけるピアノ教育が幼児の音楽表現にどのような影響を与えていくのか、ピアノ演奏表現も関連させながら考察する。幼児の音楽表現に関して、器楽アンサンブル(合奏)を中心にして考察する。 ピアノ演奏表現について、ピアノ作品の作曲家や時代背景を中心にして演奏解釈を考察し表現を深める。

担 当 授 業 科 目
こどものためのピアノⅠ (前期) こどものうたと伴奏法Ⅰ (前期) 音楽の基礎 (前期) こどものためのピアノⅡ (後期) こどものうたと伴奏法Ⅱ (後期) 保育総合表現 (後期) 器楽アンサンブル (後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【こどものためのピアノⅠ】 ピアノの基礎的な演奏技能を学んでいく上で、学生に応じた進捗で技術を向上していけるようグループに分けて個人レッスン形式で進めた。途中で遠隔授業に切り替わることもあったが、学生には事前に課題を動画で提出させることで、双方向でのタイムラグによる伝わりにくさを軽減させ、授業当日オンラインでも分かりやすく伝えることができるようにした。また、ピアノ未経験者が増加している状況を受け今年度より教材を見直し、限られた時間で保育者として実践的な技能習得を効果的に進めていくことができるよう授業を展開した。
授業科目名【こどものためのピアノⅡ】 個人レッスンを進めながら、毎時間各教員のグループから1人ずつ科目担当者のもとに集め発表の場を設けた。これにより実践を意識してピアノ演奏に取り組むだけでなく、お互いに意見交換をすることで他者の表現を感じ受け止め言葉で伝える大切さや自身の演奏を見つめ直す機会を設けた。 弾き歌いの課題ではコード伴奏を用いた課題を入れることで、前期で履修した「音楽の基礎」での学びを踏まえて、知識に加えて演奏を通して理解を深めることで、より実践的なピアノ技能を高められるよう進めた。
授業科目名【こどものうたと伴奏法Ⅰ】 保育者として音楽を楽しんで表現することができるよう、学生が曲のイメージを広げ曲に合った伴奏をつくり弾きうたいの演奏ができるよう個々に応じた指導ができるよう授業を展開した。2年次になり実習や就職試験など授業外でピアノが課せられることが増え、学生がより実践の場で力を発揮していくことができるよう、課題とは別に実習先や就職試験で求められる曲の指導もしていくよう配慮した。

授業科目名【こどものうたと伴奏法Ⅱ】 これまでに習得したピアノ演奏技術をもとに、学生の習得状況に応じた個々に合わせた課題を準備し授業を進めた。特にピアノ演奏に不安がある学生に対しては、自信をもって現場で演奏していくことができるよう簡易伴奏にする方法を教授した。
授業科目名【音楽の基礎】 理論を講義で学ぶだけでなく実際に音楽を感じながら理解を深めていくことができるよう毎時間ソルフェージュの課題を取り入れた。講義の際は机間指導を適宜行いながら進めることで学生から質問を受ける機会を設け、全体の状況を把握できるよう配慮した。途中遠隔授業の期間はパワーポイントの画面に動画やアニメーションを利用して映像や音符の動きを加えながら説明することで、学生が理解しやすい資料の提示・説明を心がけた。歌唱指導では新型コロナウイルス感染予防のため少人数のグループに分け換気・距離を十分にとり行った。他のグループが行っている間は個室の練習室にて各自練習とし、範囲・注意点を明確に提示しておくことで効果的に練習を行えるよう指導した。
授業科目名【保育総合表現】 学生主体で「シオンの丘こども劇場」を作り上げていくために、学生同士で意見を出し合う時間をつくるだけでなく、一人ひとりの考えを引き出せるよう個別に教員と話す機会を設けた。また、作品にふさわしい音楽を選曲、効果音の提案をするなどサポートし、作品を表現していく上での音楽の重要性が伝わるよう進めた。履修者数が少ない中ではあったが、限られたものを使って学生が協力して考え進めることで、より現場に近い形で創り上げていくことができるよう心掛けた。
授業科目名【器楽アンサンブル】 履修者が少人数であったため、編成の大きいアンサンブルはできなかったが少人数でもできる教材を準備し、ハンドベルや保育現場で多く使われる楽器の奏法を学び、アンサンブルの美しさ楽しさが伝わるよう指導した。また、楽器演奏に苦手意識をもっている学生もいたが、身体や声を使ったリズムアンサンブルを取り入れることでアンサンブルへの理解を深めていくことができるよう工夫した。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会	会員	2018年～現在に至る
九州公私立音楽学会	会員	2019年～現在に至る

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 1. 保育者養成校におけるピアノ指導についての一考察 ―実践につながる演奏技能の習得に向けて―	単著	2021年	西南女学院大学紀要VOL.26	本研究では、保育現場での実践につながる演奏技能の習得に向けて、『大学ピアノ教本』の内容を精査し指導内容の検討を行った。その結果、教本と弾き歌い教材の音楽的要素を関連付けながら『大学ピアノ教本』の曲数を抜粋することで、

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				2年間という限られた時間での習得が可能になるのではないかと考えた。簡易伴奏の演奏技能は個々の学生に応じた方法を教授し、他の曲にも自ら応用できるよう指導することが大切である。今後は学生の習得状況等から本研究の有効性を確認していく必要がある。
2. 保育者養成校におけるリズム感を養う指導法について	単著	2021年	西南女学院大学紀要VOL.26	本研究では、保育者を目指す学生のリズム感を養うための指導法の検討を行った。学生の読譜力の向上を目的に独自の教材を作成し、Step.6までを段階的に構成し、各ステップの内容を細分化して音楽的要素を習得できるようにした。これにより苦手とする要素やレベルに合わせて取り組むことが可能となり、効率良く読譜力を向上することができる。また、ボディパーカッションを取り入れることでリズムを介して他者とコミュニケーションを図り、豊かな感性や表現することの楽しさを育むだけでなく、協調性や責任感など様々な力を養うことにも繋がると考えられる。
(特別寄稿論文) 1. 日本の保育者養成校におけるピアノ実技演習の現状と課題—K大学のピアノ授業教材の分析事例を中心に—	共著	2021年	東アジア諸国における幼児教育・子育ての実態に関する研究	本研究では、学生が効率良くピアノ演奏の力を習得できるよう、カリキュラム上の現状等から多角的に検討し、バイエルピアノ教則本と子どもの曲を比較・分析することで課題曲の構成について検討し。その結果、学生にとって音楽を通してより豊かな表現力を養い、意欲的に取り組めるような教材を難易度別に編集することの必要性を見出した。今後は教則本そのものの比較検討と見直しを行うとともに、子どもの曲との関連性を意識しながら並行して取り組めるように

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				編成し、必要に応じた教材の開発や課題編成についても検討していく必要がある。 植村和彦・石川ますみ・ <u>山路麻佳</u> ・井原花綸
(翻訳)				
(学会発表) 日本の保育者養成校におけるピアノ実技演習の現状と課題～K大学のピアノ授業教材の分析事例を中心に～	共著	2021年11月	2021年度 日本語教育と日本学研究国際シンポジウム(オンライン発表)	本研究では、学生が効率良くピアノ演奏の力を習得することができるよう、カリキュラム上の現状等から多角的に検討し、バイエルピアノ教則本と子どもの曲を比較・分析することで課題曲の構成について検討し。その結果、学生にとって音楽を通してより豊かな表現力を養い、意欲的に取り組めるような教材を難易度別に編集することの必要性を見出した。今後は教則本そのものの比較検討と見直しを行うとともに、子どもの曲との関連性を意識しながら並行して取り組めるように編成し、必要に応じた教材の開発や課題編成についても検討していく必要がある。 石川ますみ・ <u>山路麻佳</u> ・井原花綸・植村和彦
(資格取得) リトミック指導資格(初級)		2021年3月	特定非営利活動法人リトミック研究センター	リトミック指導者養成コースにおいて、3歳児に向けた指導法を習得し指導者として認定された。

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（１） 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
北九州音楽協会 福岡青年音楽家協会 むなかた第九コンサート	会員 会員 伴奏ピアニスト	2015 年 4 月～現在に至る 2016 年 4 月～現在に至る 2016 年 4 月～現在に至る
カフェ・クリムト サロンコンサート 「九州山口ジュニアピアノコンクール」 審査員	ピアニスト 審査員	2021 年 4 月 7 日 2021 年 7 月 25 日
カフェ・クリムト サロンコンサート 「東京インテリア家具 MOA café コンサート」	ピアニスト ピアニスト	2021 年 9 月 29 日 2021 年 11 月 7 日
島村楽器「福岡地区音楽教室発表会」	伴奏ピアニスト	2022 年 1 月 30 日
島村楽器「福岡地区音楽教室発表会」	伴奏ピアニスト	2022 年 2 月 19 日
島村楽器「福岡地区音楽教室発表会」	伴奏ピアニスト	2022 年 2 月 26 日
宗像ユリックス「ロビーコンサート」	ピアニスト	2022 年 3 月 25 日

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
チャペルアワー 奏楽 クリスマス礼拝 奏楽 ハンドベルクワイヤー 指導指揮 2019 年度～現在に至る 筑豊高校へ出張模擬授業 講師